

# まちがいさがし クイズ



上下の絵を見くらべて、まちがいを8カ所見つけてください。

とうふねこ座：市川雅子 画

### 応募方法

ハガキまたはファクスに、①答え(右の絵に○をつける)・②住所・③氏名(ふりがな)・④年齢・⑤電話番号・⑥広報紙の感想、ご意見などを書いて応募してください。なお、当選者のお名前を広報がまごおり9月号に掲載しますので、ご了承ください。

### 送り先

〒443-8601 旭町17番1号  
企画広報課「クイズ」係  
FAX66♦1190

### 応募締切

7月17日(火)

### プレゼント

全問正解された方のうち、抽選で10人の方にクオカードもしくはラグーナの湯無料利用券をプレゼントします。なお、賞品は9月初旬に郵送します。



### 「チャラボコ」(西浦町)

今日は7時半からチャラボコの練習。  
「やばいー遅刻しちゃうー」  
僕はあわてて家から飛び出した。…はずだった  
が、そこはただの海だった。  
「え、なにこれ？」周りを見回すと聞きなれたチャラボコが聞こえてきた。音に誘われるがまま行くと一人の男の人に声をかけられた。  
「おい坊主、どこへ行く？」僕も分からないよ。チャラボコの練習に行くつもりがこんなところ来ちゃったんです。そうか、なら一つ話をしよう。昔、熊野の船が海で遭難し、はるか南の島に漂着したんじや。船員は島の民に助けられ、世話になった島の歌のリズムを覚えたんじや。故郷へ帰った熊野の民は、島のリズムを伝えたんじや。それがチャラボコじやよ」  
「へー、日本のリズムじゃないんだあ」  
「チャラボコにはもう一つ話がある。平安のころじや。熊野の民は、海上交通を生業としていた。その親方を良久と言ひ、熊野と三河を行き来する荷船の船主でもあった。ある日、天皇のおぼさん一行が三河の海で遭難した。彼はすぐに救助し、西浦の稲生港に連れて行き、一行を心からもてなしてゆくり保養してもらったことしたんじや。その天皇のおぼさんにはそれはきれいな娘がおった。そして、なんと娘と良久はラブラブになり結婚したんじや！  
「じゃが、その娘は3年目の秋、病で死んでしまった！良久はえらく悲しみ、出家して名前を東林坊としたんじや。東林坊は娘のために姫の好きだったお囃子を海人流にアレンジして神社へ奉納したのがチャラボコじや。おい坊主、チャラボコすきか？」  
「はい！そう言えはなんでおぼさんはそんなこと知っているんですか？おぼさんは誰？」  
「それはよかった。わかか？わしは東林坊。昔の名前を良久という」  
気がつくくと、僕は家の前に立っていた。耳にチャラボコの残音を残して…  
チャッチン チャラボコ チャラボコ チャ  
東林坊は天皇の命をうけ、西浦に姫の菩提と不動明王を祀り無量寺を創建しました。ここに姫のお墓があります。チャラボコのお囃子は、大胴とよばれる大太鼓と、はじめとよばれる小太鼓と笛で構成されます。高く早い独特のリズムから誰言ううとなくチャラボコの名が生まれたそうです。

### 5月号の答え



5月号クイズまちがいさがし  
(観音山の観音様)の当選者  
応募総数74通  
正解者66人  
当選者 敬称略・50音順  
形原町 加藤有貴  
本町 菊池敏昭  
三谷町 黒木博正  
形原町 榎原久美子  
鹿島町 佐藤さよ子  
三谷北通 早川穂南  
豊岡町 牧野延子  
水竹町 増田恵美  
竹島町 山本幸子  
丸山町 横山朝一  
おめでとうございます。賞品は7月初旬に発送します。